

平成19年度第1回藤島地域審議会
会 議 録 (概 要)

期 日 : 平成19年5月29日 (火)

場 所 : 鶴岡市藤島庁舎 大会議室

平成19年度 第1回藤島地域審議会 会議録(概要)

○日 時 平成19年5月29日(火) 午前10時～午後0時10分

○場 所 藤島庁舎 大会議室

○出席委員 (五十音順)

石川守、板垣吉徳、伊藤忠、小野木覺、小野寺久記、数馬昭一、上林淳、上林節子
神林守、小玉健、今野多美子、齋藤昇、齋藤フミ、齋藤泰宏、佐藤憲一、冨樫達喜
成澤剛、成沢みやこ、丸山鎮

○欠席委員

佐藤吉紀

○市出席者

藤島庁舎 支所長 深澤一雄、次長 伊関仁一、総務課長 半澤正昭
政策企画室長 加藤 耕、市民福祉課長 山村誠、税務市民主幹 上林正利
産業課長 小細澤充、建設環境課長 今野克雄、教育課長 佐藤武、
下水道環境主査 齋藤正、政策企画室係長 佐藤豊、
総務地域振興主査 丸山隆逸、総務課主任 渡部秀明
本 所 政策調整室 室長 石山健一、調整課長 柴田昌明、政策調査課長 渡邊純
主査 宮崎清男

○次 第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 副会長の選出について
4. 説 明
 - (1) 地域の状況報告について
 - (2) 組織機構の変更について
 - (3) 平成19年度予算の概要について
 - (4) 平成19年度の主な事業の概要について
5. その他
6. 閉 会

【 会議の概要 】

(辞令の伝達・4名 数馬昭一、佐藤憲一、成澤剛、丸山鎮)

1. 開会 深澤支所長

2. あいさつ 小野木覺会長

3. 副会長の選出について 数馬昭一委員を副会長に選出

委員より事務局案との発言があり、深澤一雄支所長が数馬昭一藤島地域町内会長会会長を副会長にと提案した。委員に異議なく互選されました。

4. 説明

(1) 地域の状況報告について

(平成 19 年度藤島地域行政等状況報告により深澤一雄支所長が説明)

(2) 組織機構の変更について

(平成 19 年度藤島地域行政等状況報告により深澤一雄支所長が説明)

○小野木覺会長 ただいま組織の変更あるいは地域の状況報告ということで支所長からご説明いただきました。この件につきましては、それぞれの団体長さん、あるいは市の当局の改革の名の下に、人事・課の変更があったということで、住民にとってはいい組織になっていくものと思っております。また、地域の状況につきましては、庁舎、それぞれの団体の皆さんから大変なご協力を得て現在の 14 項目を説明いただきました。この件につきましては、後ほどその他の段階で皆様にお計らいをしたいと思います。続きましては、(3)の方に進行してよろしいでしょうか。(3)平成 19 年度予算の概要についての説明をお願いします。

(3)平成 19 年度予算の概要について

(広報つるおか 4 月 1 日号平成 19 年度鶴岡市予算特集号及び 3 月議会資料平成 19 年度会計別予算総括表により半澤正昭総務課長が説明)

○小野木覺会長 どうもありがとうございました。これについては後ほどということでもよろしいですか。それでは、(4)平成 19 年度の主な事業の概要についての説明をお願いします。

(4) 平成19年度の主な事業の概要について

(平成19年度鶴岡市藤島庁舎事業一覧により担当課長及び主幹が説明)

- 小野木覚会長 長時間ご説明ありがとうございました。それでは、説明(1)から(4)まで終了しました。5のその他については、支所長にバトンタッチしたいと思っておりますけれども、その前に何か。
- 半澤正昭総務課長 (4)まで説明したわけですがそれに対してご質問があれば承りたいと存じます。
- 小野木覚会長 平成19年度の主な事業の概要ということで、審議会の皆さまのご質問があればと思います。
- 石川守委員 農業の代表として出席しております石川と申します。よろしく申し上げます。経営安定対策に伴う認定農業者が300名を超えたと思っておりますけれども、農業のまちでできました藤島地域ですので、これからの取り組みの支援について頑張りたいと思っておりますし、その辺の説明もお願いしたいと思います。また、ランドセルの贈呈について今年度廃止ということですが、鶴岡市独自の少子化対策の考え方があれば説明をお願いしたい。また、最後に市議会議員の政務調査費についてわかる範囲でご説明をいただきたいと思っております。
- 小細澤充産業課長 農業者の活性化対策事業につきましてですけれども、この事業につきましては、農業開拓者支援事業という名称で、藤島地域限定で行われてきたところでございます。この事業につきましては、いろんな補助事業に乗れない部分がある程度要件を緩和しながら、対応してきました。実績を問われるということで、是非、こういった事業につきましては取り組みをしていただいて、実績をもって対応していきたいと思っておりますし、市全体でこれから認定農業者の支援事業が検討されていくと考えております。
- 佐藤武教育課長 ランドセルの贈呈の廃止ということで現在調整されておりますけれども、藤島独自の子育て支援、また別の考えは今もっておりません。ただ、合併調整の中でも大きな子育て支援策になっており、市全体で広げるべきとの話もあります。ランドセルの関係につきましては、廃止をしながら子育て支援という形でまた別の形で支援をしなければならないのか、別の部局で検討することになっております。教育委員会としての子育て支援(ランドセル贈呈)については、19年度で終了すると聞いております。
- 伊関仁一次長 議会議員の政務調査費ですけれども、私どもでは詳しい内容で答弁しかねますので、後ほど議会事務局からお聞きしましてお知らせしたいと思っております。
- 今野多美子委員 婦人会から代表させていただいております今野です。先日、春季防災訓練で炊き出し訓練を行いました。非常時の場合、無洗米というものが何か必要かと思われました。また、水の確保はどうなっているのでしょうか。ごみの関係ですけれども、「資源ごみ袋」なんです、「ごみ」という風に使わないで「有効資源袋」と名称を変えていったら、ごみといっても資源になるのだと意識が強くもてるのではと思っておりますし、資源の方に行くのであれば、棄てるごみも少なくなることにつながると思っております。小さいことではありますけれども、名称の変更を藤島から声を出していただけたらと考えております。地産地消の関係なんですけれども、私は、仕事柄、米の粉をつかったホワイトソースを作っているんですが、地産ということも考えて作っています。余目産、新潟産の粉はありましたが、藤島産のものが店頭で並んで欲しいと思っておりますし、コインをいれると上新粉ができる機械が

「楽々」にあればいいなと思いますし、農家の人が米をもってきて上新粉に変えることもできるし、米の消費拡大につながると考えておりました。ランドセルの件ですが、平等にいきわたるということで、若いお母さん方から喜ばれておりました、是非、継続できるようにお願いします。少子化で子供の数が減っていますので、子育て支援ということで継続をお願いします。

- 半澤正昭総務課長 水の確保ですが、防火水槽について、耐震型に切り替えております。水を飲料水に浄化する装置も開発されてきています。防火水槽の水を飲料水にできれば水の確保につながるのかと思います。
- 小細澤充産業課長 米の粉につきましては、消費拡大の観点からも、米の粉でパンができないかと研究をしてきたところがございます。上新粉につきましては、家庭用の粉引き等のできるものであればご要望にお答えできるのかと思いますし、「楽々」とも協議して検討させていただければと思います。
- 小野木覚会長 そのほか、農業地域にもかかわらず、他所の農産物が多いという意見もありますが、「楽々」で販売されている中身はどうなっていますか
- 小細澤充産業課長 藤島地域は米を中心とした農業を進めてきたということで、野菜を生産して「楽々」に届ける点については、他の地域から見れば若干力が足りないのかと思います。また、果樹、加工品については藤島地域の中ではすべてをまかなうことはできない状況です。合併したことによって、藤島地域だけでなく他の地域の農産物も販売をさせていただいて、お互いの地域のいい農産物を分かち合えればと思います。若干、無いものは内陸からも取り寄せておりますが、消費者の方々に喜ばれることを目指しておりますのでご理解をお願いします。
- 佐藤武教育課長 (ランドセル贈呈について) 実施しているのは、藤島・羽黒・朝日の3地域になります。藤島は、地域審議会を通して継続をして欲しいと意見がでたということで、要望事項としてとらえていきたいと思っております。
- 佐藤憲一委員 有害鳥獣駆除、カラス被害のことですけれど、年々被害が大きくなっていて、農業団体としても猟友会の協力を得て毎年駆除をしているわけです。冬期間に集中的に市で何百羽単位で捕まえてもらいたい。予算をつけて対応をお願いしたい。残飯の処理も広報活動をして、カラスに餌を与えないようにしていただきたい。
- 小細澤充産業課長 カラスの駆除につきましては、農協と連携をとりながら猟友会に補助金という形で対応させていただいています。今のご意見にあったことにつきましては、実態を確認させていただいて、庁舎だけの対応にはならないので市全体で提言をさせていただきたいと思っております。
- 数馬昭一委員 町内会長を代表しまして、2点ほど質問します。1点は、1人暮らし老人または、身体障害者世帯の冬期間の除雪支援支給について、はたして来年からあるのかと不安があります。もし、これが無くなって町内会で負担していただきとなると、町内会の予算では厳しいものがあり、何とかこれは継続していただきたいと思っております。2点目は、下町町内会の警鐘台の警鐘はフックに架けられているだけで、誰でも持っていける状態です。各町内会の現状を把握していただいて、2回目の町内会長会まで対応策を出していただきたいと思っております。

- 今野克雄建設環境課長** 平成14年から1人暮らし老人世帯の出入り口の除雪を藤島地域で実施してまいりました。5年を過ぎると本来の目的が見失われる状況が見受けられました。と、申しますのも今まで各地域でボランティアでしてきたものを若干市で補助をしてきました。そうしますと、お金をもらってるのだらうと意識の違いとかでてきました。実際18年度は、多い人は80数回、少ない人で6回位、平均的に20数回になります。今後は、考え方を統一し、予算の上限を決め、その範囲内で実施するように皆さんに周知して進めていきたいと思えます。
- 山村誠市民福祉課長** 雪下ろしの関係で、65歳以上の1人暮らし、高齢者のみの世帯についての雪下ろしは、委託業者に支払いをしておりました。これについては、全市18年度から統一をいたしまして、実際にかかった雪下ろし費用の部分の市からの助成の形で対応しております。1万円以内であれば雪下ろしに要した費用、1万円を超えますと、1万円を限度額としています。
- 半澤正昭総務課長** 警鐘台については撤去の方向で進んでいます。代わるものとして、ポール型のものに切り替えています。最近、半鐘が盗難にあうとか問題もありますので、実態を把握して町内会長会で報告させていただきたいと思えます。
- 齋藤正建設環境課下水道環境主査** (答弁もれがありましたので)今年度から、ごみの出し方分け方のチラシを全戸に配布しております。資源の部分を実ん中に配置し、ポスターを作製したところです。印刷の段階で考慮できる部分もありますので、次回の印刷のときに話し合わせていただきたいと思えます。カラスの関係は、環境保全推進員町内60名委嘱されております。各集落のカラスの調査をさせていただいておりますので、それらを集約して関係機関団体一緒になって取組んでいきたいと思えます。

5. その他

- 齋藤昇委員** 合併して1年半以上経過していますが、藤島は福祉に関しては頑張ってきたまちだと思っております。それだけに、合併による調整項目が多く、住民に不評が多く、不満が聞こえてきます。個人的にはやむを得ないと考えますが、そんなことでさびしい藤島地域になっては困ります。藤島地域を元気にしていただきたいと思えます。従来のイベント等お金をかけなくても創意工夫で盛大に行い、公民館活動も地域の活力になることは間違いないと思っております。それに加えて、観光協会の企画等をあわせて、元気な藤島地域の取り組みができればいいと思っております。
- 深澤一雄支所長** 貴重なご意見ありがとうございます。合併によって藤島の元気がなくならないようにというのは、藤島庁舎職員の命題でもあります。今、提言ありましたことも踏まえまして、市全般へ提言していきたいと思えます。
- 上林淳委員** 一つお願いしたいのが、福祉の方ですけれども、タクシー券の交付が無くなるなどのことですけれども、実際、集落が点在し、医者に行くにも車を運転する人がいない、移動手段がない集落もあります。余目では、医者まで送迎するシステムがあると聞きますので調べていただき、新しい取り組みを検討していただきたいと思えます。東栄小学校のPTA会長からもお願いされてきましたが、ランドセルの贈呈は継続して下さい。

○齋藤泰宏委員 庄内たがわ農協の齋藤といいます。庄内たがわ農協では、店舗の再編ということで藤島関連の渡前・長沼・東栄の支所を廃止させていただきました。組合員からもいろんな意見がありましたけれども、やむを得ず廃止をさせていただきました。そういった中で、多くの組合員から地域のより所が無くなるという多大な批判をいただきました。合併によってその地区の活性化が失われるという懸念もございますので、私どもの責任を転嫁するわけではありませんが、やはり地区の公民館の果たす役割というのは大変大きいものがあるかと思えます。地域住民が気軽によれるような雰囲気・環境づくりをお願いしたいと思います。それから、農業委員会がこの庁舎にやってきました。藤島は、庄内たがわ農協の本所もございますし、普及センターなりいろんな農業施設が設置されております。これは、大変いいことだろうと思えます。教育委員会は櫛引庁舎にございます。そういった旧町村の施設を有効活用していただき、旧市の方にハコモノが集中しないような施策が必要かと思えます。それが、中山間地も含めて活性化につながるのだろうと思えますので、そういった観点で行政を進めていただきたいと思えます。今年度から国の農業対策が大きく転換をしまして、そのことは、農村・農業・農協をとりまく環境が変化をしてくると予想されます。そういった中で今まで以上に、行政から支援をしていただきたいと思えます。最後に、合併して1年2年が経過していますが、本所の農林水産関係の行政が、管内に鶴岡市農協と庄内たがわ農協があるわけですが、いままで旧市は市農協と一体となってきた経過があつてか、我々庄内たがわ農協を含めて中山間地の農業行政が遅れているという感じがいたします。旧市だけの主導ではなくて、中山間地の農家・農村をどうしていくかという課題もありますので、強力に提言をしていただきたいと思えます。

○小野木覺会長 それでは、今日の審議会を閉会させていただきます。今日は大変ご苦勞様でした。

6. 閉会（午後0時10分）